



明神湯（東京・大田区） 写真・編集部

銭湯特集だから、銭湯マニアに対談してもらわねばと考え、銭湯界の鬼才・下北沢つかさ氏と、もりたゆたか氏にうかつに声をかけたら、こんなことになってしまいました。ぜひお読みください。アキレます。

瀬戸内と南九州はスペシャル

編集部（以下、編） 銭湯巡礼はいつごろからですか？
下北沢（以下、S） わざわざ交通費かけて遠くまで行くようになったのは、ここ二十年くらいかな。

もりた（以下、M） 僕はそこまで長くはないですね。ただ、銭湯歴そのものは長い。子供のころ、家に風呂がなくて日常的に通ってたから。

S 昔はあちこちに銭湯があつて不便を感じなかったけど、近ごろはほとんど潰れてるから。

M 焦りがあるんですよ。「いつか行けばいいや」じゃ済まなくなってきた。早く行かないとなくなっちゃうから。どこかに行ったらまず風呂屋！

S 二度と復活しないからね。跡地はだいたいコインパーキングになる。

M じつはいまも風呂上がりなんです。集合が新宿と聞いたので、中野の旭湯に寄ってきた。はい、常にお風呂セットは携帯していますよ。タオルに石鹸、シャンプー、それに簡単な着替え。

S 俺は毎日銭湯だな。家の風呂は使ったことがない。だけど地元の下北沢（世田谷区）はついに銭湯がなくなっちゃったから手間がかかります。

M 僕は家が藤沢（神奈川県）で、近隣の銭湯は壊滅的な状況だから、家の風呂も使います。銭湯に入ると冬場は湯冷めするのがつらいですね。

編 お二人で巡るといふことは？

S 基本、マニアは単独行動なんです。連れがいると制約が多くなるから（笑）。

M 人と一緒だと自由にならないじゃないですか。それぞれのペースがあるんで。

編 女性のマニアもいらつしゃいます？

S いますよ。お風呂好きな女性は多い。ただ、男と比べるとペースが全然違うから。

M 神楽坂のNPO団体から銭湯の話をしてほしいと頼まれて、そのあとみんなで二軒回ったんですよ。女性のペースに合わせたら、男は全員のほせました。

S 男より時間が長いからね。熱海湯？

M そう。

S あそこ湯が熱めでしょう。

M 熱いですね。やはり銭湯をのんびり楽しむなら一人のほうが気楽だなあ。

S だいたい、いくら銭湯が好きでもはしごはめつたにやらないからね。

M 続けて入ると印象が薄くなる。

S そう考えると、理想は朝昼晩の三回ですかね。

編 ……三回。湯温は地域差があるんですか？

S ありますよ。東京はちよつと熱め。関西より1度くらい高いんじゃないかな。それでもここ最近はぬるめの銭湯が多い。二十年くらい前は、45度くらいの銭湯が結構あつたけど、いまはない。慣れていない人は入れないです。

M できれば44度あたりが一番いいかな。スーパージ銭湯はぬるいんですよ。

S だいたい40から41度。以前は最低でも42度という条例があつたけど、なくなっちゃったから。

M 衛生面への配慮で湯船で雑菌が繁殖しないように。それがなくなつてカルキを使う銭湯が多くなつて